

宇都宮市立雀宮中学校

学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
<ul style="list-style-type: none"> ・授業における「学習目標」の明確な提示 ・考えさせる「振り返り」活動の充実、 ・課題解決へと努力する、家庭学習ノートの活用 	<p>家庭学習のひとつとして、「家庭学習ノート」に1ページの自主学習を行い、提出することに取り組ませている。</p> <p>授業を振り返り、復習の具体的な内容や方法について自主決定して、目的をもって実践させている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業で習ったことをその日のうちに復習している。」の肯定的回答率は市の平均より、1学年が15.4ポイント、2年生は5.6ポイント、3年生が4.6ポイント上回っている。 ・「自分で計画を立てて、家庭学習に取り組んでいる。」の肯定的回答率は市の平均より、1学年が10.0ポイント、2年生は11.5ポイント、3年生が9.9ポイント上回っている。
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをまとめ、記述・発表する指導の充実 	<p>教科部会において、誤答分析や感染防止に努めながら書いたり話し合いを行う学習活動の場面について検討し、共通理解を図りながら、教科の特性をいかし実践している。授業の振り返りについても、自由記述させている。また、同じ教科どうして授業参観を行い、指導法について教師間で共有している。必要とされる正確な情報を、パソコンを使って修得させようと推進している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分の考えを、根拠をあげながら話すことができる。」の肯定的回答率は、市の平均と比べて1年生は8.7ポイント下回り、2年生は5.4ポイント下回り、3年生は7.0ポイント下回っている。 ・「パソコンを使って、相手に分かりやすく自分の考えや調べたことを伝えることができる。」の肯定的回答率は、市の平均と比べて1年生は0.8ポイント上回り、2年生は7.0ポイント下回り、3年生は4.8ポイント下回っている。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

・国・県・市の調査ともに、記述式設問の正答率は市の平均正答率とほぼ同等であり、表現力の育成を主眼とした授業研究等による学力向上研修に取り組んでいる成果がスタートしていると考えられる。定期テスト等の表現力を求める設問における正答率にも伸びが見られているので、来年度も引き続き表現力の育成に努めていきたい。

・国・県・市の調査において、家庭学習における取組は市の平均を大いに上回っている。学校全体で取り組んでいる「振り返り活動と連携させた家庭学習ノート」の指導が功を奏していると思われる。次年度も、テスト等の直しやその日の授業の復習を目的とした家庭学習ノートを使った自主学習の指導を継続していく。